

相談する

認知症かも・・・と思ったら

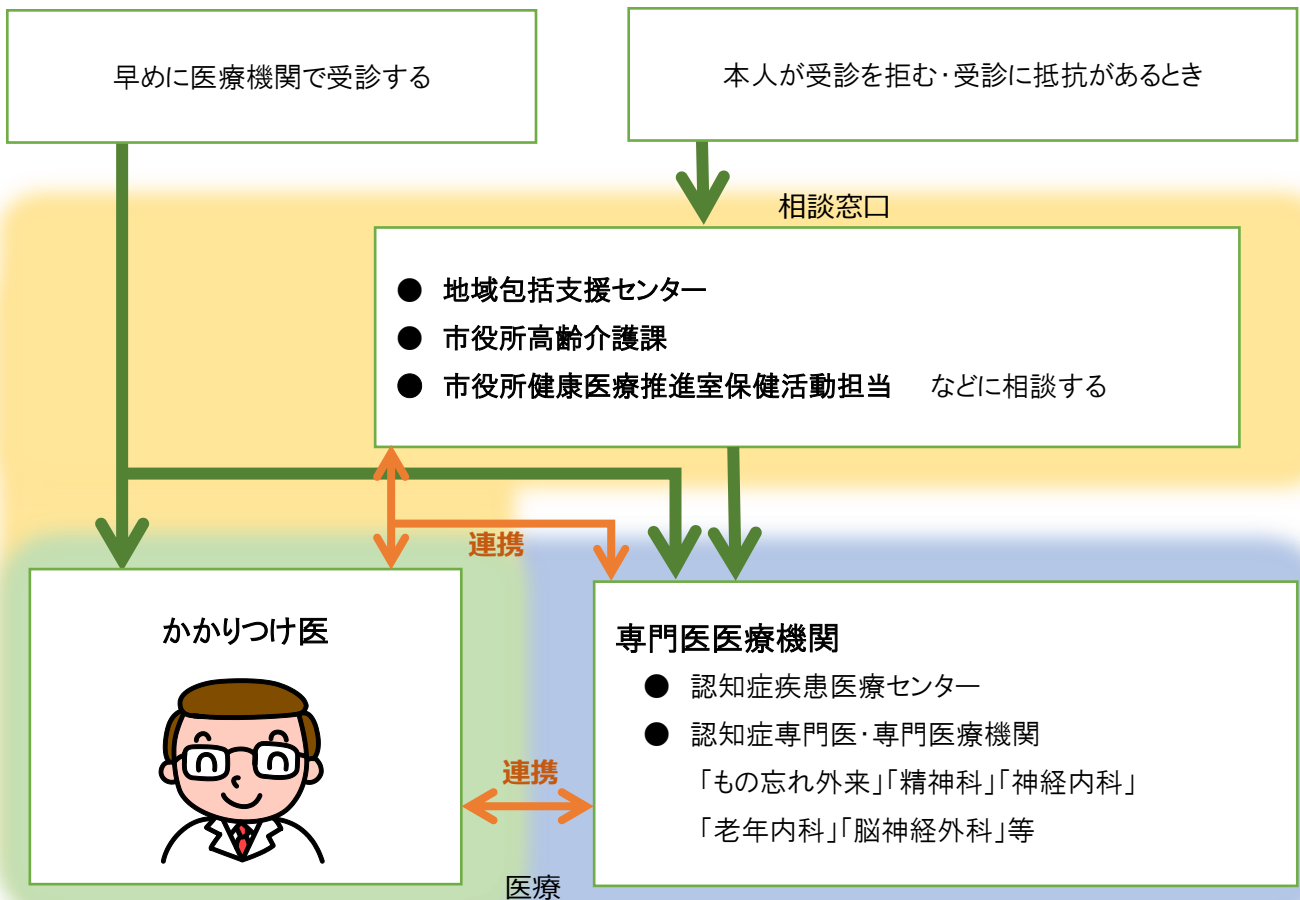
家族だけで抱え込まないことが大切

家族が認知症になったとき、責任感の強い人ほど「自分が面倒を見なければ」と抱え込む傾向があります。しかし、長期的に介護が必要となる認知症は、家族だけで介護をするのはとても大変です。介護する側の心身の疲れから虐待につながることもあります。

決して頑張りすぎず、積極的に医療や福祉サービスを利用してください。

長岡京市には、中学校区に1つ高齢者の相談窓口として地域包括支援センターが設置されています。また、専門職によるもの忘れ相談や介護相談を行っています。是非ご活用ください。

認知症かも・・・と思ったら



介 …介護保険制度上のサービスの場合はこのマークがついています。

相談する

地域包括支援センター

地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支えるために長岡京市から委託設置された相談支援機関です。主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などが中心となって、支援を行います。長岡京市には概ね中学校区ごとに地域包括支援センターが設置されています。

ケアマネジャー（介護支援専門員）

介護保険の各種サービスを調整します。

【内容】介護保険の要支援および要介護者の心身の状況等に応じた適切なサービスを利用できるよう、各種サービス事業者等との連絡調整や介護サービス計画書等を作成します。

介

市役所の相談窓口

市役所の高齢介護課では、介護保険の手続きやその他の福祉サービスなどについて相談できます。健康医療推進室保健活動担当では、医療に関することや健康づくりに関することについて相談できます。

もの忘れ相談

※予約制



認知症は脳の障がいによる病気で、誰もがかかる可能性があります。単なる「もの忘れ」でなく、ひとつの出来事をスッポリ忘れてしまう、日常生活に支障があるなど「認知症かな？」と心配されている方またはご家族からの相談を受けています。

【内容】医師、作業療法士、理学療法士、保健師等の専門職による個別相談を実施しています。当該月の広報1日号をご覧ください。

【問い合わせ】市役所健康医療推進室保健活動担当 電話：955-9705

認知症初期集中支援事業

医療福祉関係の専門職が早期に集中的に対応し、ご本人やご家族が住み慣れた地域で生活を継続していけるよう支援を行います。

【利用できる方】認知症が疑われる方や認知症と診断された方またはそのご家族。サービス利用や継続しての受診や相談が行えていない方。

【内容】専門職が自宅を訪問し、ご本人、ご家族が今後どのような生活を望んでいるかをお聞きし、必要な支援を一緒に考えていきます。専門医療機関、介護保険制度、地域資源等のご紹介をします。

【問い合わせ】東包括支援センター 電話：963-5508

認知症の人と家族の会

認知症の人とその家族が助け合って安心して生活ができるような社会を目指して、全国に支部が設置されています。

【問い合わせ】認知症の人と家族の会京都府支部 電話：0120-294-677
http://www.alzheimer.or.jp/?page_id=401

長岡京市介護家族の会

会員同士の懇談会や医療・福祉関係者との情報交換を通じて、介護者を支援することを目的に行っています。

【問い合わせ】介護家族の会連絡係 電話：955-6432